

海外農林業情報 No. 99

目次

【世界の貿易関係】日米貿易交渉と RCEP の動向……………	1
--------------------------------	---

【世界の貿易関係】日米貿易交渉と RCEP の動向

日米貿易交渉

日米貿易交渉は、いよいよ攻防が激しくなっています。6月28日、安倍首相と、G20大阪サミットのために来日した米国トランプ大統領との首脳会談において、日米貿易交渉の早期合意を目指して交渉を加速することで一致しました。続いて同日、茂木経済再生担当大臣とライトハイザー通商代表との間で閣僚協議が行われ、それまでに行われた農産品、工業品に関する実務者協議の結果を二人の間で確認するとともに、閣僚レベルで詰める必要がある論点について確認を行い、率直な議論を行ったとされています。また、7月から事務方の協議を精力的に行い、その協議の結果を受けて次回の閣僚協議を行うとされています。

交渉の焦点は、農産品や工業品の関税です。TPP11と日EU・EPAの発効により、我が国の農産品市場において米国産、特に肉類、ワインは不利な状況になっているため、米国の生産者は不満を募らせており、米国トランプ政権への圧力となっています。このため、米国側は農産品の関税引き下げを急いでいるのですが、日本側は、米国も自動車や自動車部品などの工業品の関税を撤廃すべきだと主張し、対立しています。

昨年9月の日米共同声明では、農産品の市場開放水準について、TPPを念頭に「過去の経済連携協定の範囲内」とすることが明記されています。米国も「TPP水準」を容認しています。しかし、「TPP水準」の解釈について、両国の認識の違いがあると言われていいます。例えば、バターと脱脂粉乳の低関税輸入枠は、米国離脱後のTPP11においても米国分を含む7万トンのままで設定されています。米国側は、今回、米国向けに新たな枠を設けるよう要求しており、日本側はこれを拒否しているとされています。

次回の閣僚協議は8月と見込まれており、今月それに向けて事務レベル協議が再開されるようです。

RCEP

RCEP（東アジア地域包括的経済連携）については、交渉参加16カ国による首席交渉官会合が7月3日、オーストラリアのメルボルンで開催されました。

18ある交渉分野のうち、2017年末までに合意された「経済技術協力」「中小企業」に加え、2018年に「税関手続き・貿易円滑化」「政府調達」「制度的事項」「衛生植物検疫措置

(SPS)」「任意規格・強制規格・適合性評価手続き (STRACAP)」の 5 章が妥結されています。今会合では、新分野での合意はなかったものの、新たに「電気通信サービス」と「金融サービス」の 2 分野で交渉が進展し、2019 年末の交渉妥結目標に向けて引き続き取り組むことを確認しました。

RCEP では、特にインドが大幅な関税撤廃に慎重とされています。河野外相は 6 月 29 日、大阪市内でインドのジャイシャンカル外相と会談し、RCEP について「年内妥結を目指したい」と述べ、協力を求めました。

次回交渉官会合は 7 月 22～31 日に中国・鄭州で、8 月 3 日に北京で閣僚会合が開催されることになっています。

<参考リンク>

日米物品貿易協定交渉に関する閣僚会合について（令和元年 6 月、内閣官房 TPP 等政府対策本部）

http://www.cas.go.jp/jp/tpp/ffr/pdf/190628_TPPgaiyou.pdf

輸入枠新設で攻防 日米交渉 7 月から加速（日本農業新聞、6/30 付）

<https://www.agrinews.co.jp/p48076.html>

RCEP 交渉官会合、新分野の合意なく 8 月に閣僚会合（日本経済新聞、7/3 付）

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO46906710T00C19A700000/>

（文責：藤岡典夫）

本情報のメール配信をご希望の方は、件名に『海外農林業情報配信希望』と記入した空（から）メールを下記までお送り下さい。ご意見、ご感想もお待ちしております。 E-mail アドレス：deskb@jaicaf.or.jp
メールを送付された方には、確認メールをお送りします。送信後 2 週間以内に届かない場合は、お手数ですが 03-5772-7880（担当：森・西野）までお電話下さいますようお願い申し上げます。なお、メール配信をご希望の方には、本ミニ情報のほか、セミナーのご案内等、当協会からのお知らせが届くことがありますので、併せてご了承下さい。

発行：（公社）国際農林業協働協会 (JAICAF)

〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階